

農業体験が ら「食」を 学ぼう

白川にある
北方自然教育
園では、動植
物の観察、自
然体験学習の
ほか、学校単

位で水稲や大豆、梨などの体
験農場を借りることができま
す。この農場は、栽培・収穫を
体験することで、食べ物の大
切さを学び、豊かな感受性を
育てることを目的として昭和
六十二年に開設し、毎年数多
くの児童が訪れています。

九月二十八日、秋晴れの中、
常盤小学校の児童たちが稲刈
りを行いました。六月の田植
えの時には小さな緑色だった
苗が、太陽の日差しを浴びて
黄金色に輝く稲穂に成長した
姿に、児童たちは目を見張っ
ていました。

教育園の指導員から、かま
の使い方や稲の刈り方、束ね
方などを教わり早速挑戦。始
めは恐る恐るだった児童たち
も次第に慣れ、上手に稲を刈
り取っていききました。その後
稲を束ねてひもで縛り、天日
で干すため木枠に掛けて作業
は終了。刈った稲は、後日脱
穀して学校で食べる予定です。
稲刈りを終えた五年生の夏
堀亜由美さんは「田植えと稲



①



②



③

- ①かまで丁寧に稲刈り
- ②協力して稲を束ねて
- ③みんなで天日干し

刈りを体験して、今日からお
米がもつとおいしく感じられ
そうです」と笑顔で話してい
ました。

同園の野口勝明指導員は
「食べ物がどのように成長し、
収穫され、自分たちの口に入
るかを知るとは、とても大
事なこと。これからもたくさ
んの子どもたちに農業体験を
して欲しいですね」と子ども
たちを温かく見守りながら話
しました。



札幌市北方自然教育園

札幌市南区白川1814番地
☎596-3567

毎日の食事 で健康を守 ろう

札幌市では、
運動や食生活
改善など、仲
間同士による
健康づくりの
活動を応援す
る「ヘルシーコミュニティ促
進事業」を行っています。

この事業に登録している団
体の一つ「ママズ&キッズ」
は子育て中のお母さんが中心
となり家族の健康を守るため
に活動しています。毎月、親
子体操やウォーキング、歯の
検診などを行っており、十月
六日には札幌市の出前講座を
利用し、南保健センターの管

理栄養士から「幼児の食生活
と健康」について学びました。
この日は十三組の親子が集
まり、子どもが一日に必要な
食品量の目安や、歯の健康を
守る食事についての講話に熱
心に耳を傾けていました。
今回の講座を受講した鈴木
麗奈さんは「子どもの嫌いな
食材も調理法を工夫すること
で食べられるようになること
など新しい発見がありました。
今日からまた家族のために、
食事の準備を頑張れそうで
す」と話していました。



①



②

- ①ママズ&キッズ
の皆さん
- ②食生活について
勉強中

ヘルシーコミュニティ促進事業
に関するお問い合わせは
南保健センター (☎581-5211) へ